

(一社)廃棄物資源循環学会第2回企画セミナー

廃棄物の機械的・生物的处理 (Mechanical Biological Treatment:MBT)

〔趣 旨〕 廃棄物の機械的・生物的处理 (Mechanical Biological Treatment: 以下 MBT) とは、混合状態の廃棄物を機械選別、生物処理を行い、減容化、資源化する一連の処理システムである。欧州で廃棄物最終処分場の不足を解消する目的で生ごみ等の生物分解性有機物の埋め立てを最小化・禁止するために始まった MBT は、近年、アジア地域で廃棄物からエネルギー・資源回収を目的とした低コストの前処理方法として高いニーズが見られる。ごみの含水率が高い東南アジア地域では、破碎や選別効率向上のために、生物処理を先に実施し、一部の有機物を分解させることで発生した熱を、廃棄物の乾燥に利用するバイオドライイング (bio-drying) 方法を適用する例もある。ここでは、欧州発の技術でありながら、地域の廃棄物処理事情に応じて発展してきた MBT 技術の様々な取り組みについて紹介する。

〔主 催〕 (一社)廃棄物資源循環学会

〔日 時〕 2016年12月20日 (火) 10:00~17:00 (受付開始9:20)

〔会 場〕 日本大学理工学部駿河台校舎1号館2階121会議室 (東京都千代田区駿河台1-8-14)

地図: <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/google.html>

〔交 通〕 JR御茶ノ水駅、聖橋口改札出口より徒歩3分

〔定 員〕 100名 (事前WEB申込み制)

〔参加申込み〕 学会ホームページ (http://jsmcwm.or.jp/?page_id=10690) から申込みください。

参加費 10,000円、大学・官公庁 3,000円、

情報交換会(懇親会)参加費 3,000円

講演会当日、受付にて申し受けます。学会名で領収書を発行します。

〔プログラム〕

<9:50~10:00>	開会の挨拶	学会企画運営委員長 秩父薫雅
第1部	MBTの現状と展望	座長 秩父薫雅 (神鋼環境ソリューション)
<10:00~10:40>	廃棄物処理技術としてのMBTの現状と展望	石垣智基 (国立環境研究所)
<10:40~11:20>	欧州各国のMBT技術動向	吉川克彦 (エックス都市研)
<11:20~12:00>	地域特性を考慮した廃棄物のMBTについて	李東勲 (ソウル市立大学)
<12:00~13:00>	食事休憩	
第2部	MBTはどこで使えるか!	座長 李東勲 (ソウル市立大学)
<13:00~13:40>	日本の廃棄物処理システムにおけるMBTの適用可能性	石井一英 (北海道大学)
<13:40~15:00>	Potential of MBT to support waste to energy in Thailand (逐次通訳あり)	Sirintornthep Towprayoon (King Mongkut's University of Technology Thonburi)
<15:00~15:10>	休憩	
第3部	MBTの将来性と用途開発	座長 石垣智基 (国立環境研究所)
<15:10~16:10>	パネルディスカッション	パネラーは上記講演者
<16:10~16:20>	閉会の挨拶	副会長 長田守弘
<16:20~18:30>	情報交換会	

以上